



問 開院10周年を迎えた東海病院について地域の身近な医療機関として努めていく

新政とうかい 飛田 静幸 議員

議員 村立東海病院の救急収容件数は、東海消防署の昨年の救急件数1461件に対し、390件であり、収容の依頼をして断られた件数が362件あった。断らなければならない要因を伺う。

福祉部長 救急隊が情報収集した患者の病態や症状経過を基に、医師が現下の医療体制で診察、診断、治療が適切に行えるか判断し、確保できない場合は断らざるを得ない。

議員 救急隊が断られた一番多い時間帯はいつか。外来診療が終了した時間帯と関係しているのであれば、医療スタッフの体制を強化する具体的な対策を講じるべきと思うが。

福祉部長 病院としても受け入れ体制の見直しを行っているところだが、常勤医師の確保が難しく救急に

備える体制をさらに強化していくことは困難な状況である。

議員 東海病院のかかりつけ患者であれば休日診療を行っていないなくても休日の受診は可能か。

福祉部長 休日や夜間は、輪番制で行っている村内の医療機関での休日診療の利用をお願いしたい。



東海病院



問 農業の担い手「認定農業者」への支援について経営安定のため、事業拡充に取り組む

豊創会 村上 孝 議員

議員 高齢化や担い手不足が進展するなか、認定農業者に対する期待が高まっている。本村農業の中心的な担い手として、今後更に活躍できるような農業政策を検討すべき。

建設農政部長 認定農業者のニーズを十分に把握し、村独自の補助事業拡充のほか、国や県の融資制度等の活用についても支援するとともに、農地の集積を図り、地域農業の維持に努める。

問 教育環境のあり方について
答 保育所、幼稚園の再編充実に取り組む

議員 揺りかごから幼児教育までという考えのもと、幼児教育政策の展開が必要では。

福祉部長 幼児教育の重要性を十分に認識した上で検討を進め、今年度

中に基本方針案を作成する予定。

問 自治会活性化の取り組みについて伺う

答 自治会の自主的・自立的な活動を支援する

議員 地域の課題解決や福祉の充実にどのように図っていくのか。

村民生活部長 各地区の自治会を中心に話し合いを継続し、村民との協働によるまちづくりの実現に向け努める。



田園風景